

資料 1

令和 4 年 9 月 1 2 日

吉川福祉専門学校
校長 久田 晴實

令和 4 年度 第 1 回教育課程編成委員会報告の公表について

教育課程編成委員会による本校の「第 1 回教育課程編成委員会報告」を公表します。

1 委員名簿

委員長：久田晴實委員 副委員長：池上千恵美委員

(1) 外部委員

阿部 慎也	グループホーム サンパティオ 施設長
小湊 竜一	特別養護老人ホーム吉川平成園 事務課長
山口 剛介	吉川市健康長寿部長寿支援課 課長
與儀 忍	ケアセンター岩槻名栗園 副施設長

(五十音順)

(2) 学校側委員

久田 晴實	吉川福祉専門学校長
池上 千恵美	同 教員
山本 晃市	同 事務長
田村 貴章	同 係長

2 教育課程編成委員会の開催状況

日 時：令和 4 年 7 月 2 2 日（金） 1 1 時 2 0 分～1 2 時 2 0 分

会 場：吉川福祉専門学校 演習室

参加委員：上記外部委員 4 名、学校側委員 4 名

3 委員会次第

開会

(1) 委嘱状交付

(2) 委員の紹介

(3) 校長挨拶

(4) 委員長選出

(5) 報告

① 令和4年度教育課程編成方針及び特色について

(5) 協議

① 今後の教育課程編成に向けて

② 授業内容等の改善及び工夫について

(6) その他

① 今後の予定

② 事務連絡等

閉会

4 第1回委員会議事要録

別紙のとおり

以上

令和4年度 吉川福祉専門学校 第1回教育課程編成委員会議事要録

令和4年9月12日

- 1 委嘱状の交付 省略
- 2 委員の紹介 省略
- 3 校長挨拶 省略
- 4 委員長選出 久田校長
- 5 報告事項
 - (1) 令和4年度教育課程編成方針及び特色について
- 6 協議事項
 - (1) 今後の教育課程編成に向けて
 - (2) 授業内容等の改善及び工夫について

外部委員及び学校側委員からの提言と質問事項等

(学校) 大きな変更点はあまりないが、介護福祉士はよりリーダー的な役割を求められるようになってきているので、学校としても重要に考えている。先日、吉川市から認知症サポーターの方に来ていただき、講習が修了し1年生全員がオレンジリングを持つことができた。

学生が介護実習に行く際のPCR検査先がなかなかみつからず苦慮したが、越谷市の薬局で検査をしてもらえることになり、全員が実習前にPCR検査を実施することができた。

(学校) 新しい教育課程になって2年目になった。非常勤講師、専任教員が一方的な指導をするのではなく、外部の講師を招いての授業なども行っている。先日も福祉用具専門員資格を取得した本校の卒業生に來校してもらい、授業の一部を講義してもらった。その際、マッスルスーツも持参してもらい学生に体験させることができた。他にもオレオレ詐欺や年金の話など外部の講師を招き、教科書だけではなく専門家の話を聞くことで学びがより深まった。チームマネジメントという言葉

が出てきて介護福祉士はよりリーダー的な役割を担うことが求められる。2年生の授業で医療的ケアを学んでいるが、チームで必ず最後の一人まで合格させるということをチームの課題としている。最後の一人まで合格させようと、学生同士がマンツーマンで教えあうなどチーム力というか力を合わせ成し遂げていく学びとなっている。学生の中には、医療やリハビリに興味のある人も多く、入学前に看護やリハビリ分野を希望していた学生もいる。そういった学生は、医療的ケアの授業などはより熱心に授業に取り組んでいる。介護実習に関しては、コロナ禍にもかかわらず介護実習施設のご厚意によって実習ができていことに大変感謝をしている。学生が実習から帰ってくると、実習前よりもとてもいい顔つきになっている。学生の感想を聞くと、つらいこともあったが実習に行ったら良かったし学ぶことがとても多かったという感想が多い。

各現場でのチームマネジメントについてお伺いしたい。

(委員) まず役割として職種が分かれている。現場は介護職だけでは当然成り立たないので、そこに医療職や栄養部門、生活相談員などいろいろある。それぞれの意見が大事であるため、自分の介護職としての意見をまとめて協議をする形にしている。学校での学びはチームマネジメントの理解が早くなると思うので、とてもいい科目だと思う。

(委員) 施設を運営していく中で、現場の職員がキーポイントになる。職員に経営感覚等を理解してもらいながら職員を育てていかなければいけない。そういった人材が職場に何人いるかが大切であると感じている。施設の運営を考えながら人材育成できる職員の人数が増えていくと、自然と能力のある職員を見て他の職員も育てていくと思うので、そこは力を入れている。

(委員) ユニットごとに主任等を配置しているので、そこでまずカンファレンスを実施、多職種連携のところをバックアップして確認している。主任等で解決しない場合は、必ず私に報告してもらっている。任せてはいるが必ずユニットの責任者に話を聞き、情報マネジメントを行っている。

(委員) 解決しなかったものは、管理職が一件一件に目を通していている。複数の階層の職員のチェックが入っている。できるだけそれぞれの担当職員が聞きやすいような時間や場を設けている。

(学校) 介護福祉士も経営者感覚が必要ということでしょうか。

(委員) 施設の収支を職員に理解してもらうことはとても大切だと思う。

(委員) 制度上ユニット型になるとリーダーを置かなければならない。うちは12人のリーダーを置く必要がある。運営に関わってくる人を育てなければならぬ。リーダーは主任副主任手当がある。リーダー一人あたり5人のグループでチームをまとめてもらう。当然職員の話も聞

かなければならない。何が困っているかを把握して解決に導いていかなければならないのが一つの役割でもある。解決しなければ主任さんと話し合いをしたりフロアごとに話をしてもらったり、解決しない場合は部長と相談してもらおう。教育はゴールがないのでリーダーの差があると感じている。リーダーの教育が今年度の目標である。例えば福祉用具の使い方ひとつをとっても知ってる人と知らない人、使いこなしている人、使いこなせていない人もいるのでリーダーの底上げを第一に考えている。